

■ 公立園の取り組み内容

国府幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・柳沢運動プログラムに取り組んでいる。 ・月に1回運動遊びの先生(ボランティア)から学ぶ。 ・年間を通して、跳び箱・竹馬・鉄棒・一輪車に取り組んでいる。 ・冬は毎朝マラソンをする。
伯太幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・柳沢運動プログラムに取り組んでいる。 ・なわとび・鉄棒・跳び箱などを毎日の体操の後に取り組んでいる。 ・各クラスで朝の会の前、空いている時間にほぼ毎日リトミックをしている。
北松尾幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・柳沢運動プログラムに取り組んでいる。 ・1カ月に1回、北松尾小学校の先生から学び、毎朝、体操あと、取り組んでいる。
北池田幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・柳沢運動プログラムに取り組んでいる。 ・ボランティア講師による体操教室(マット・跳び箱・ボール運動など体の動かし方を学ぶ) ・朝のマラソンを実施している。 ・園外保育に出かけ体力づくりを行っている。

国府第一保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・一年通じてリズムあそびをしている。 ・4.5歳児は雑巾がけを取り入れている。
国府第二保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回30分全身を使った運動を繰り返し実施している。 ・月1回1時間新しい運動内容を付け加えている。 ・毎朝、季節に合わせた体操を実施している。
和泉保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・柳沢運動プログラムに取り組んでいる。 ・体操の後、運動遊び(鉄棒・縄跳び・固定遊具等)を実施。 ・月2回～4回、リトミックを実施。
芦部保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・園外散歩に積極的に出かける(田んぼ・黒鳥山公園・土手すべり)
北池田保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・柳沢運動プログラムに取り組んでいる。 ・体操後、運動あそび(大縄・竹馬・鉄棒等)やリズム遊びを行っている。
緑ヶ丘保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・体操の後、運動遊び(鉄棒・固定遊具等)を行っている。 ・柳沢運動プログラム・リズム遊びにも取り組んでいる。
北松尾保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、体操・マラソンに取り組み体力作りをしている。 ・月1回北松尾小学校の先生より柳沢運動プログラムの指導を受ける。 ・各年齢に応じた基礎の運動を通して、鉄棒・マット・跳び箱につなげている。
鶴山台第一保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・体操の後、運動遊び(縄跳び等)を行っている。 ・計画的に柳沢運動プログラム・リズム遊びを実施している(週1程度)。
鶴山台第二保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日、子どもヨガに取り組んでいる。 ・ストレッチの後、柳沢運動をしている。冬はウォーキングに行く。
くすのき保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、体操後、体育遊具固定遊具遊びを取り入れている。 ・日常と定期的に柳沢運動プログラムをとりいれている。 ・リズムあそび(1カ月に数回)、縄跳び(毎日)、マラソン(冬場)を行っている。

① ヨコミネ式教育法の内容について

子どもが自ら学ぼうとする力に注目した幼児教育法であり、子どもの自主性を尊重して、子どものやる気を引き起こしながら、「読み・書き・計算・体操・音楽」に繰り返し取り組むことを通して、失敗しても自ら乗り越えられる心、自ら学ぶ力、運動能力のベースを育み、子どもたちが持つ可能性を最大限に引き出すことを目的としている教育法だとわられている。

具体的には、英語教育、徒競走、ヨコミネ式体操、計算、読書、鍵盤ハーモニカ等に取り組むことで、ひらがな・カタカナの拾い読み、足し算、掛け算、絶対音感、跳び箱 11 段、倒立、側転、逆立ち歩きなどができるようになると言われている。

導入方法と進め方	幼児活動研究会（株）の講師が園を訪問し、初めは教諭や保育士に指導・研修を行い、その後子どもに指導していく。
導入にあたっての経費	料金は園の規模や内容によって違う。 契約料：216,000 円 講師料：月額 108,000 円+交通費（月 1 回概ね 6 時間程度で園児数が 75 人以下の場合）
教材費	別途必要な場合がある
ケガ等の保障関係	体操等を実施する場所（園）において障がい保険等に参加する。
教育プログラムの考え	教育プログラムは押し付けでなく、個々の子どもに合った内容で指導する。
備考(平成 28 年 3 月 14 日聞取り)幼児活動研究会（本社）担当：ヤタ氏 03-3494-0262	

②近隣市におけるヨコミネ式教育法について

近隣市では、堺市の同一法人の私立幼稚園 2 園、泉大津市の民間認定こども園 1 園、富田林市の私立幼稚園 1 園がヨコミネ式教育法を導入。

導入の方法は、教育カリキュラム自体にヨコミネ式を取り入れたり、保育時間のなかにヨコミネ式教育法カリキュラムの時間を設けたりなどさまざまである。幼児活動研究会株式会社（ヨコミネ式教育法を全国展開している会社）から専任講師を呼び、直接指導してもらっている園もある。

費用面については、それぞれの保育園・幼稚園・認定こども園が保育料や諸費用として他の給食費や教材費用等とあわせて徴収しているため、金額はそれぞれの園によって違う。

③デメリット

- ・すべての子どもにヨコミネ式が合うとは限らない。ついてこれられない子もいる。
- ・体操時にけがが多い。
- ・論拠があいまい。

【参考】

ヨコミネ式教育法のメリット・デメリットについては保育士さん、保護者の方からいろいろな意見が述べられている。

良い点・メリット

○子どもたちが設定した目標にむかって練習する姿はたくましく見えました。うちの園で果たしてこれからの人生で経験する試練を乗り越えるだけの強さを育ててあげられるのかわかりません。穏やかな保育すぎて刺激がなく、あたらしい遊びもなかなか生まれていません。刺激としてはアリなんじゃないかと思っています。(保育士)

○できることがたくさんある＝子どもの将来の可能性・進路が増えるんです。大人でもそうですが、経験がたくさんある人と経験不足の人ではまったく違います。勉強は楽しい、やればやるだけ達成感もあるし、世界が広がることを子どもには覚えてほしいのです。(保護者)

○うまくいかない時は、必ずその子どもが答えを持っています。子どもから学ぶという事を大切にすることで、この5年間の中で横峯先生がおっしゃるように「できない子なんていない。時間がかかるだけなんだ」ということを目の当たりにしてきました。次のステップへ自分の力で到達した時の子ども達の笑顔は何にもかえがたいものだと思います。

懸念点・デメリット

●どんな幼稚園、保育園にもいろいろなことを思っている子がいます。バック転も側転も興味がない子もいるでしょうし。30年間続けてこられた教育法だからこそすばらしいとは思いますが、方法的にいいことだから誰にでもやってやるべきだとはいえない気がします。(幼稚園教諭)

●通わせている方が、子どもはできることが楽しくて骨折などがとても多いとおっしゃっていました。親はケガが一番敏感ですよ…。安全に配慮するのも大変そうですね。(保護者)

●私はあそこまでなくても子どもたちの可能性は伸びると思っています。私の勤める園の近くにも横峯式保育を取り入れている園がありますが、中には『家の子には合わないんじゃないか』『幼稚園の間はしっかり遊ばせたい』とおっしゃってうちの園を選んでくださる方も正直いらっしやいます。(幼稚園教諭)

●跳び箱はとべ、側転ができ、逆立ちはできるのですが、座って落ち着いて話を聞くことが出来にくいお子さんが多いように感じられます。また、漢字やひらがなも書けるようにはなっているのですが、難しいものを書かせたり読ませたりを進めることがメインとなっている為、文字の丁寧さや形にはこだわらず、変な癖がついてしまっていて、小学校に入ってからそれを直すのに苦労している子たちが多いように思います。(小学校教諭)

賛否両論があり、保育に対する考え方によって捉え方はさまざまです。子どもたちの大きく成長する姿が見られる良さや、潜在的な可能性を引き出して子どもの力にしていくやりがいはあるでしょう。一方で体操時のケガに対する対応についてや、合わない子どもたちへの対応をどうするかといった点は難しい問題であるとも言えそうです。